# OBU NEWS

2023年1月18日

## 快速列車用新型車両
## キハ400系 / 450系が登場します！

奥武鉄道ではかねてより中長距離快速列車の運用を担う次世代車両の検討を行って参りました.が、この度キハ4000系気動車と8000系電車の後継となるキハ400系気動車、450系電車が登場しました. 両形式の車両は2023年1月に量産先行車両での試運転を始め、2023年年内の営業開始を予定しております. なおキハ400系の運用開始後キハ4000系は機関非換装車(0番台車)より順次廃車を開始し、会津地区での普通列車限定運用に使用される一部編成を残す大半の車両の置き換えを予定しております. 8000系においては大半の置き換えを予定しておりますが、比較的経年が浅いことや車内の居住性が非常に高い車両であることから、臨時列車や団体列車での運用も含め、今後の運用の可能性について引き続き検討を重ねて参ります.

### キハ400系気動車

軌間 1067mm
動力伝達方式　液体式ディーゼル
採鉱運転速度　140km/h
起動加速度　3.5km/h/s
減速度　3.5km/h/s(常用)　7.0km/h/s(非常)

### キハ400系気動車

軌間 1067mm
電力　直流1500V
採鉱運転速度　140km/h
起動加速度　3.5km/h/s
減速度　3.5km/h/s(常用)　7.0km/h/s(非常)

キハ400系と450系は共通した車体を持つ気動車と電車というコンセプトで併結運転を前提に設計され、ともに当社では初めてのステンレス車両(前頭部のみ鋼製)となります. 前頭部意匠は昭和期からの奥武鉄道車両の伝統を引き継ぎつつ新しい時代にふさわしい美しく精悍な面持ちとすべく正面貫通扉下部はステンレス無塗装としました. 車体長はキハ4000系よりやや短く8000系に準ずる20m級となり、一方で車体最大幅はキハ4000系と同等の2900mmとなっております. シートピッチはキハ4000系に比べ拡大した一方で8000系には及ばないため、シート布とクッションを一体化した薄型素材を用いたフリーストップ型のリクライニングシートを導入することでライナー利用にも対応できる居住性を確保しています、また車椅子対応トイレや一部乗降口では車いす対応リフトを整備しております. 側面には大型の行先表示器を備え、列車分割の案内に対応できるようになりました. キハ4000系で夜行列車運用を念頭に装備していた車内の減光機能に加え、電球色での車内灯点灯機能も両形式とも標準装備し、夜のライナーでの利用を想定しております. キハ400系は連ユニット、450系は4連ユニットでの運行を予定しており、2023年内の運行開始を目指して試運転を行っております.